

ギャザーフリルが視覚評価に及ぼす影響

—フリルを用いた“かわいい”ドレスの制作—

A22AB066 崎江 美月

1.はじめに

アパレル造形手法の一つに、フリルがある。フリルとは、「ギャザーやフレア等の技法により一方の端を波打たせたテープ状の縁飾¹⁾」であり、衣類の縁を強調するとともに、デザインに立体感を与え、ロマンチック、可憐、時にはゴージャスなイメージを演出する。従来、フリルは女性的で装飾的な要素として認識されてきたが、近年では素材の多様化によりイメージも多様となり、その印象や用途も広がりを見せている。日本で装飾としてフリルが取り入れられたのは、1880年代のことである。1883年に外国客をもてなすために建てられた鹿鳴館では、西洋風舞踏会や慈善バザーが開かれ、出席者には洋装が奨励された。当時の女性は、西洋で流行していた後方を膨らませたバスク・スタイルのドレスを着用し、裾や袖などにフリルが施されていた。フリルは長く女性的で装飾的な要素と見なされてきたが、近年は素材の多様化により印象や用途が広がっている。³⁾また、日本のポップカルチャーにおいて「かわいい」は重要な感性的価値であり、特にアイドル衣装においては、フリルやリボンなどの装飾が「かわいらしさ」を強調する要素として頻繁に用いられている。アイドル衣装は、視覚的な華やかさや動きのあるシルエットを重視し、ファンに「かわいい」という印象を強く与えることが求められる。

先行研究において、フリルに関する視覚評価²⁾は一部報告されているものの、ギャザーフリルが視覚的評価に及ぼす影響については十分に検討されていない。特に「かわいい」という印象要素を定量的に分析する研究は少ない。

そこで本研究では、「かわいい」という感性的価値に着目し、フリルのギャザーフリルと布幅の違いが視覚的評価に及ぼす影響を明らかにすることを目的とした。さらに、その結果を基に、評価に沿った「かわいい」ドレスの制作を行った。

2.方法

2-1 アンケート調査

女子大学生53名を被験者とし、Googleフォームにてフリルが好きかなどの衣服の着装に関するアンケート調査を実施した。

2-2 試料の作成

ギャザーフリルは2倍、3倍、4倍、5倍、6倍の5種とし、布幅が5cm、10cm、15cm、20cmの4種計20試料をシーチングにて作成した。試料はマンセルN6背景としボードにピンで打ち付けた。図1に試料を示した。

2-3 実験方法

評価項目は、「地味な-派手な」「大人っぽい-子供っぽい」「重い

「軽い」「硬い-柔らかい」「親しみやすい-親しみにくい」「好き-嫌い」「清楚な-華やかな」「かわいい-かわいくない」「買いたい-買いたくない」の8形容詞対とした。

実験は、女子大学生53名を被験者とし、20試料についてSD法による5段階評価の官能検査を行った。なお、実験は2025年5~6月に実施した。

3.結果及び考察

3-1 アンケート調査結果

フリルが好きかという質問に対し、「好き」「どちらかといえば好き」と回答した人が81.3%であった。実際にフリルを着ているかの質問に対し、「好き」「どちらかといえば好き」と回答した人は76.8%であった。

3-2 平均官能量

視覚評価実験の結果から平均官能量を算出した。図2に示した。「かわいい-かわいくない」では最もかわいいと評価されたのはギャザーフリル2倍、布幅5cmの4.3であり、最もかわいくないと評価されたのはギャザーフリル2倍、布幅20cmの2.6であった。総じて、布幅が狭いものは「かわいい」と評価される傾向にあった。一方で、ギャザーフリルが増加するにつれ、布幅による評価差は小さくなる傾向にあった。

3-3 因子分析結果

視覚的評価に関する要因を検討するために因子分析(Word法、プロマックス回転)を行った結果を表1に示した。

第1因子では「硬い-柔らかい」「重い-軽い」「親しみやすい-親しみにくい」「地味な-派手な」「清楚な-華やかな」の5形容詞対が高い負荷量を示し「力量性・活動性の因子」と解釈した。第2因子は「好き-嫌い」「かわいい-かわいくない」「買いたい-買いたくない」「大人っぽい-子供っぽい」の4形容詞対が高い負荷量を示し「評価性の因子」と解釈した。



図1 実験試料

3-2-3 数量化I類による因子の検討

イメージに関する要因を検討するために、ギャザーフレア量、布幅を説明変数、平均官能量を目的変数として数量化I類により分析した結果を表2に示した。偏相関係数から「地味な-派手な」「重い-軽い」「硬い-柔らかい」「好き-嫌い」「清楚な-華やかな」「買いたい-買いたくない」はギャザーフレア量が大きく影響していた。「大人っぽい-子どもっぽい」「かわいい-かわいくない」は布幅の方が影響していることがわかった。

4. 作品制作

4-1 デザイン

本制作では、官能検査にて「かわいい」にて評価の高かった「ギャザーフレア量2倍・布幅5cm」、「ギャザーフレア量4倍・布幅10cm」、「ギャザーフレア量・3倍布幅5cm」を採用し、「かわいい」ミニドレスをデザインした。

図3にデザイン画を示した。

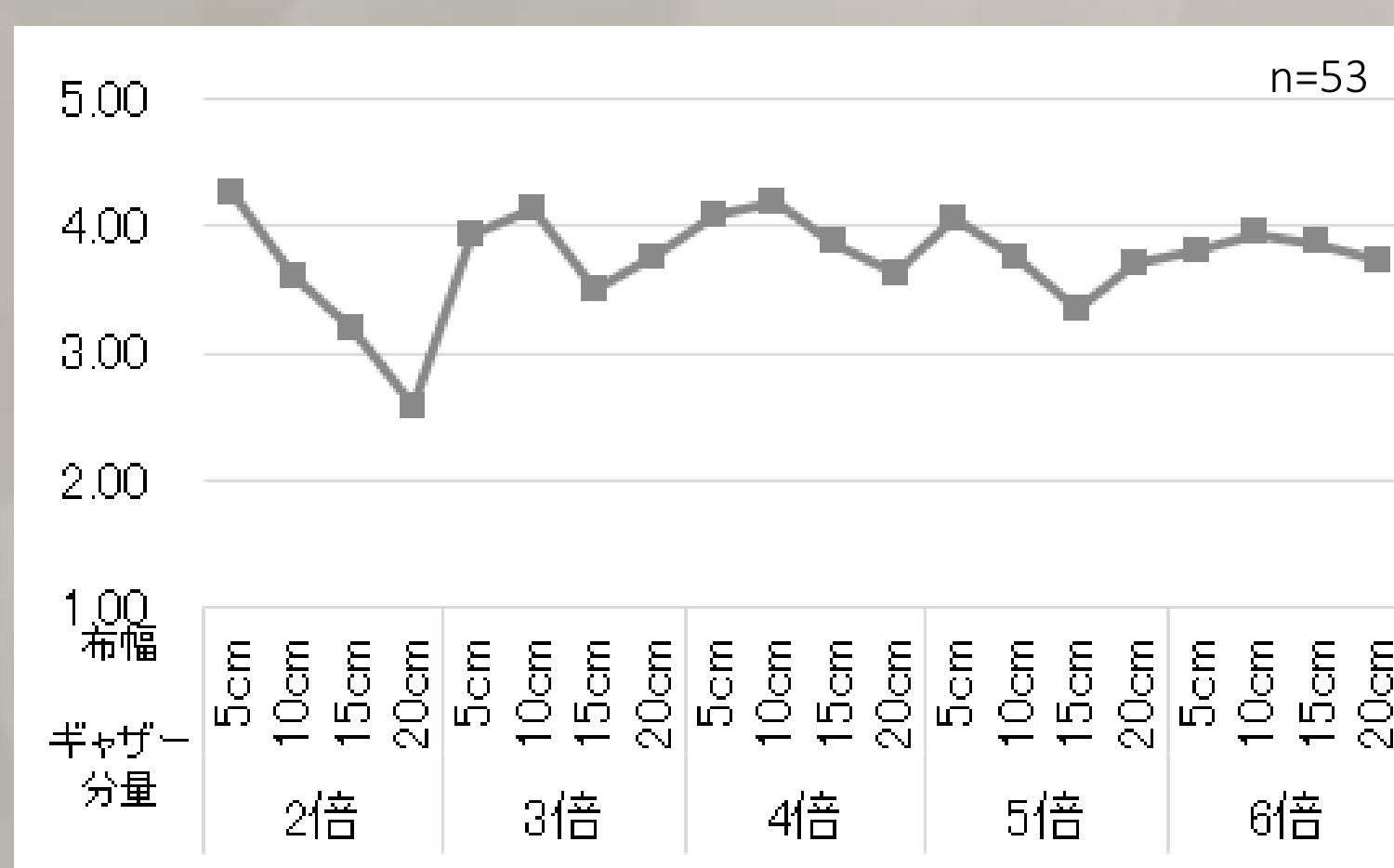


図2 平均官能量「かわいいーかわいくない」

表1 因子分析結果

形容詞対		因子1		因子2		共感性	
硬い		0.9330		0.1599		0.8953	
重い		0.7673		0.2014		0.5918	
親しみやすい		-0.8687		-0.0837		0.8013	
地味な		-0.9160		-0.6809		0.9995	
清楚な		-0.9396		-0.6309		0.9979	
好き		0.2672		0.9541		0.9129	
かわいい		0.2484		0.9839		0.9748	
買いたい		0.2153		0.9589		0.9312	
大人っぽい		-0.6471		-0.6989		0.6827	
寄与率		59.62%		26.91%			
累積寄与率		59.62%		86.53%			

表2 数量化I類の分析結果

アイテム		地味な-派手な		大人っぽい-子供っぽい		重い-軽い		硬い-柔らかい		親しみやすい-親しみにくい		
		カテゴリ	偏相関係数	カテゴリ	偏相関係数	カテゴリ	偏相関係数	カテゴリ	偏相関係数	カテゴリ	偏相関係数	
ギャザーフレア量	2倍	1.167	0.982	0.465	0.934	-0.942	0.972	-0.427	0.892	0.231	0.761	
	3倍	0.119		0.129		-0.207		-0.244		0.120		
	4倍	-0.116		-0.025		0.091		0.006		0.063		
	5倍	-0.578		-0.237		0.635		0.438		-0.303		
	6倍	-0.592		-0.333		0.423		0.227		-0.111		
幅	5cm	-0.478	0.931	-0.783	0.981	-0.149	0.631	0.094	0.397	-0.232	0.651	
	10cm	-0.086		-0.187		-0.041		0.021		0.111		
	15cm	0.211		0.337		0.047		-0.094		0.030		
	20cm	0.353		0.633		0.143		-0.021		0.091		
	定数項	2.501		2.833		3.072		2.802		3.370		
重相関係数		0.985			0.985	0.973		0.896	0.824			
重相関係数の2乗		0.971			0.970	0.947		0.804	0.679			
アイテム		好き-嫌い		清楚な-華やかな		かわいい-かわいくない		買いたい-買いたくない				
		カテゴリ	偏相関係数	カテゴリ	偏相関係数	カテゴリ	偏相関係数	カテゴリ	偏相関係数	カテゴリ	偏相関係数	
ギャザーフレア量	2倍	-0.395	0.783	0.787	0.980	-0.336	0.611	-0.337	0.753			
	3倍	0.206		0.200		0.083		0.154				
	4倍	0.163		-0.055		0.188		0.163				
	5倍	-0.044		-0.521		-0.028		-0.038				
	6倍	0.071		-0.411		0.092		0.058				
幅	5cm	0.144	0.697	-0.500	0.960	0.283	0.705	0.109	0.666			
	10cm	0.187		-0.069		0.175		0.174				
	15cm	-0.156		0.227		-0.190		-0.153				
	20cm	-0.175		0.342		-0.267		-0.130				
	定数項	3.602		2.800		3.744		3.380				
重相関係数		0.847			0.986	0.783		0.824				
重相関係数の2乗		0.717			0.973	0.613		0.678				

4-2 完成作品

完成作品は、図4に示した。



図3 デザイン画



図4 完成作品

5. おわりに

本研究では、「かわいい」という感性的価値に着目し、フリルのギャザーフレア量と布幅の違いが視覚的評価に及ぼす影響について検討した。その結果、布幅が狭いフリルほど「かわいい」と評価される傾向にあった。また、ギャザーフレア量が増加するにつれて、布幅による評価差は縮小する傾向が示された。これらの知見は、フリルデザインにおける感性評価の構造を理解するうえで有用であると考えられる。

6. 参考文献

- 1)アパレル用語辞典 <http://stt-s.com/>
- 2)菅原珠子、佐々木啓(1985)『西洋服装史』朝倉書店 69-70, 77-78p
- 3)増田美子(2013)『日本服装史』東京堂 244p
- 4)佐藤真知子:イメージを形にする設計製作技術—フリルの場合、文化女子大学紀要、服装学・造形学研究39, 109-118, 2009